

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 東京コロニー トーコロあおば就労サポートセンター アリーバ			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年11月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2025年10月30日		～	2025年11月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族との情報共有 連絡帳やサービス提供記録の記載、送迎時にその日の様子の伝達、個別面談時には記録した映像を見てもらい日々の様子をイメージして頂いている	取組んだ作業やプログラム/SSTにおいて、上手く出来たことや頑張った様子を中心にご家族へ伝達する。	ご家族が事業所とのやり取りで困惑しないよう、今より分かりやすく情報の共有を行う。 作業で取組んだもの等、実物を提示し
2	日々のプログラム(作業やSST、自立サポートプログラム)や土曜プログラム、長期休暇時のプログラム提供(調理やおやつの内容変更、制作、外出)	事業所で実際に行われている「メールサービス作業」「簡易作業」「パソコン入力作業」を中心として、実践に即した作業をプログラムに取り入れている。 また、利用者同士の交流の場として、週末を利用したプログラムも不定期で行っている。	プログラムについてのお知らせをより分かりやすく明記する。(当日キャンセル時の対応等)

3	事業所の環境、設備	利用者が過ごしやすい空間になるよう配慮を行っている。 ネームタグや名前入りマグネットを用意し、私物が無くならないよう配慮を行っている。 怪我の恐れがあるものは利用者の手が触れない場所へ置くなどを徹底している。 余暇と作業のメリハリが付くよう設備投資を行っている。	利用者が落ち着いて過ごせるスペースの確保。 PCのスペック、通信速度の改善。 危険が危惧された際にはヒヤリハットの共有を行う。
---	-----------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の放課後等デイサービスや地域との交流	他の放課後等デイサービスとの交流は必要と考えながらも交流は少ない。 地域との交流においても接点が薄い状況。（地域のイベントにプログラムとして参加している程度）	交流に至るまでの関りを持てるよう、他の放課後等デイサービス事業所や地域住民、施設と関係性の構築を図る必要がある。 事業所見学の機会を設け交流を図る。
2	ご家族に対しての研修や父母の会の活動の支援、保護者会等の開催等がなく、保護者同士の交流の機会が設けられていない	保護者会等の実施についてまだ検討することができていない。	今後の課題として考え実施していきたい。
3	設備や備品の老朽化	開所時から備品の交換等を行えていない。（破損は除く）	環境整備の観点から順次入れ替えを行っていく。